

「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！ 岸根町町内会自主防災だより（第19号）

2024年（令和6年）3月 自主防災部発行

弥生3月となり、大倉山の観梅会も終わり、春はもう目の前です。

2011年（平成23年）3月11日14時16分頃に発生した「東日本大震災」も13年を経過しました。震度7、大津波、マグニチュード9.0の巨大地震でした。また、多くの死者・行方不明者も発生しました。今年の1月1日には、能登半島地震も発生しました。

最近では、千葉県東方沖で地震が相次いで発生しています。毎日、不安な日々が続いています。

地震などの自然災害について、常に意識して、いつ発生しても対応できる姿勢が求められます。それには、「日頃からの備え」をもう一度、見直すことも必要ですね！

今回は、防災から減災について考えてみましょう。

○内閣府で「やればできる！減災」をテーマに「今すぐできる7つの備え」が掲載されていましたので、転用させて頂き紹介します。 ※「減災のてびき」（平成21年3月）より



「7つの備え」は、以下の7つのポイントからなっています。

1 自助、共助

「自助」とは、地震などの災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守ることです。大切な生命、財産を自分・家族で守ることです。

「共助」とは、地域に居住する皆様と共に力を合わせて助け合うことです。日頃からご近所とのコミュニケーションが大切ですね。お互いに挨拶などのお声掛けも！

2 地域の危険を知る

3 地震に強い家

4 家具の固定

5 日ごろからの備え

6 家族での防災会議



7 地域とのつながり

岸根町町内会では、地域とのかかわりで楽しい行事が実施されています。町内会行事に関心を持ち、積極的な行事参加で地域との強いつながりを「減災」に生かしていきましょう。